

2023年3月5日(日) 道新ホール

監督・撮影・語り  
&ひとり娘  
信友直子



# ぼけますから、 よろしく願いします。 ～おかえりお母さん～

講演テーマ

介護は親が命がけでして  
くれる  
最後の子育て

終活、看取り、延命治療...。  
誰もが避けて通れない肉親との別れが、  
娘の私に気づかせてくれた「大切な宝物」とは？



推薦：公益財団法人日本医師会 公益社団法人日本看護協会 公益社団法人日本介護福祉会

令和4年度札幌市文化芸術活動再開支援事業

# 2023年3月5日(日) 道新ホール

(大通西3丁目)

2回上映〈開場上映30分前〉

午前の部 上映10:00~11:50 講演12:10~13:10

午後の部 講演12:10~13:10 上映13:30~15:20

### 【鑑賞料金】

- 前売り(一般) 1,200円
- 当日(一般) 1,500円
- 札幌映画サークル会員1,000円

### 【チケット取扱場所】

- 道新
- 札幌市民交流プラザチケットセンター
- 【チケットぴあPコード】 {552441}

### 【ご予約・問合せ先】

090-8900-6699 (岡村) 070-3520-6606 (高橋)  
主催:シネマー馬力 共催:札幌映画サークル 後援:札幌市

### 【事前予約方法】

QRコードより応募フォームに記入  
【チケット事前予約 1200円】



人が生きて老いてゆく先には、  
必ず死と別れがあります。  
でも人生の最終章は悲しいだけではありません。  
お互いを思いやり、かわす笑顔もありました。  
今回もまた、誰もが自分のこととして  
感じてもらえる物語になったと思います。



信友直子 (監督・撮影・ひとり娘)

ロコミが広がり異例のロングランになった  
『ぼけますから、よろしくお願いします。』(18)

あれから4年。90代夫婦の愛の形を描いた感動の物語がふたたび始まる。

本作では前作をひも解きながらその後の夫婦の物語を描く。老老介護、認知症、看取り。日本全体が抱える高齢化社会のリアルな問題をありのままに、かつ、時にユーモラスに綴っていく。認知症とともに生きることの大変さや家族の苦勞に共感する一方で、こんな風に生きられたらと憧れを抱かせてくれるような夫婦の姿があった。

広島県呉市。信友直子監督が描くのは年老いた自らの父と母。アルツハイマー型認知症を発症した母の症状が進むにつれ、父は95歳にして人生で初めて家事を覚え、妻を支えている。現実を丹念に見つめた前作『ぼけますから、よろしくお願いします。』は、令和元年度文化庁映画賞・文化記録映画大賞、キネマ旬報ベスト10文化映画3位、ぴあ映画の初日満足度では1位になるなど高い評価を得た。



東京で働くひとり娘の「私」(監督・信友直子)は広島県呉市に暮らす両親を1作目完成後も撮り続けた——



「2018年。」  
父は家事全般を取り仕切れるまでになり日々奮闘しているが、母の認知症はさらに進行し、ついに脳梗塞を発症、入院生活が始まる。外出時には手押し車が欠かせない父だったが、毎日1時間かけて面会に行き、母を励まし続け、いつか母が帰ってくるためのと98歳にして筋トレまで始め周囲を驚かせる。しかし2020年春には新型コロナウイルスが猛威をふるい面会すらままならなくなる。

2023年3月5日(日)

道新ホール

(大通西3丁目)

2回上映〈開場上映30分前〉

午前の部 上映10:00~11:50 講演12:10~13:10

午後の部 講演12:10~13:10 上映13:30~15:20

【鑑賞料金】

□前売り(一般) 1,200円 □当日(一般) 1,500円

□札幌映画サークル会員1,000円

【チケット取扱場所】

○道新 ○札幌市民交流プラザチケットセンター

【チケットぴあPコード】 {552441}

【ご予約・問合せ先】

090-8900-6699 (岡村) 070-3520-6606 (高橋)

主催:シネマー馬力 共催:札幌映画サークル 後援:札幌市

【事前予約方法】QRコードより応募フォームに記入

【チケット事前予約 1200円】

当日、会場にてお名前とお申し込み枚数を確認の上、代金をお支払い下さい。(前売り料金1枚1200円)

名前 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

前売り券 \_\_\_\_\_

午前の部 \_\_\_\_\_ 枚

午後の部 \_\_\_\_\_ 枚

